



「こんなたくさんの種類があるのね」。オムツを手に取りながら参加者から驚きの声が

ゆめひろば班（太白区向山）は、毎月班会を開催しています。10月は「大人のオムツの使い方」というテーマで、専門の方にお話ししていただきました。紙オムツに水をたらすと、「へえ、こんなに水分を吸収するんだ」と驚きの声が上がります。

メンバーの一人、庄司芳昭さん（写真右から2人目）は「7年前、班会で血圧をはかったら高かったため、長町病院を受診し『ただちに入院です』と言われました。ほおっておけば命にかかわったようです。班会に助けられたと思っています」と話してくれました。

2020年

新春のつとえ

日 時: 2020年1月12日(日)

午前11時30分から午後2時まで
(受付は11時より)

会 場: 太白区文化センター
展示ホール(地下1階)

参加費: 2,000円



くわしくは同封のチラシをご覧ください。

出会いと笑顔の花が咲く

～仙台南健康友の会第28回健康まつりに1,100名を超える参加～

初出演・夢祭連・粹樂のみなさんのすずめ踊りは、参加者も踊りの輪に入り大きく盛り上がりました。



「あら、久しぶり！」友の会第28回健康まつりは9月29日、蛸薬師境内や長町病院北棟などで開催。心配された天気も午後には青空がひろがり、1100名を超える方々にご来場いただき終日にぎわいました。中央ステージは初出演の、夢祭連粹樂のみなさんのすずめ踊りで冒頭から大きく盛り上がりました。仙台南ツメロ楽団など歌や踊り、健康体操、ブロックの出し物など多彩なステージに、手拍子あり笑いありで楽しく進行。昨年が続いての出演となった仙台南高校音楽部合唱団のみなさんは、秋空に澄みきった歌声を広げ、聴衆に感銘を与えてくれました。

ファイナーレはチャリィディングサークル・クラップスのみなさんのダンス。会場は一体となって盛り上がりました。模擬店もほとんどのところで完売。



「これ、おいしいわよ！」笑顔の参加者

健康相談コーナーや子どもコーナーも、たくさんの方にお越しいただきました。多くの出会いや笑顔にあふれた健康まつりとなりました。

参加者からは「子どももお年よりもいっしょに楽しめるところがいいですよね」などの感想が寄せられました。



※オープンニングの長町中学校吹奏楽部演奏は天候の関係で中止になりました。

御 礼

第28回健康まつりには多くの皆様にお越しいただき、どうもありがとうございました。また、出演や出店、広告協賛、要員など様々な形でご協力をいただいた皆様に、心より感謝申し上げます。今後よりよいまつりとしていくために、皆様のご意見やご感想などなんでも結構ですので、友の会までお寄せください。





Photo 健康まつり

※すべてを紹介しきれないことをお詫びします。



「いらっしゃいませ！」(長町ブロック)



会場を魅了した仙台南高校音楽部合唱団の歌声



これ、なん〜だ？(野菜当てゲーム)



健康チェックコーナーで質問に答えます



リハビリ室は練習の成果を遺憾なく発揮



「あ〜ら、あんだ久しぶりだごど」



フィナーレはクラップスの躍動感あふれるダンス

地域の思いに寄り添う友の会に

「仲間ふやしキャンペーン」で友の会の輪を大きく広げましょう

10月、11月は、全国の民医連（民主医療機関連合会）の共同組織（友の会や医療生協など）が「仲間ふやしキャンペーン」にとりくんでいます。

長町病院待合室に週2日設置している「外来コーナー」では、友の会役員が「介護保険改善署名」を勧めるとともに「友の会にお入りですか？」と明るく声かけ。入会者も生まれています。病棟でも10月30日、「ミニコンサート」を開催し、多くの患者・家族の方が参加してくれました。



健康相談会には多くの方が（ウジエ西多賀店）



長町病院病棟でのミニコンサートも好評

また、各ブロックでスパーなどでの健康相談会や健康講演会などを開催しています。10月31日のウジエ西多賀店での健康相談会には22名の方が相談に。お二人が友の会に入会してくれました。また、健康麻雀やうたごえ喫茶などサークルでも入会者を迎えています。消費増税など悪政の下、地域の人々のくらしが悪化しています。貧困や孤立をなくし、「安心して住み続けられるまちづくり」をすすめるため、みなさんで手を携えて、地域に根をはった大きな友の会にしていきましょう。

◆みなさんへのお願い◆

- ◎ お知り合いの方をぜひ友の会にご紹介ください。
 - ◎ 読みやすく健康づくりに役立つ『いつでも元気』をお読みください。
 - ◎ みなさんの地域での健康講演会や健康相談会にご参加ください。
- 民医連の専門職などの協力で、学習や健康体操などをしてみましょう。

子や孫のためにも憲法9条守りたい

平和を語るつどいに20名の参加

社会保障部の恒例企画「平和を語るつどい」は10月9日に蛸薬師会館で開催され、20名が参加しました。

まず、原水爆禁止世界大会に友の会代表として参加した桂嶋勇孝さんより報告。桂嶋さんはスライドを使いながらわかりやすく話してくれました。「核兵器をなくすためには広島や長崎で何が起ったかを伝えていくことが

大事。自分もそのための語り部（かたりべ）になりたいし、まわりにも語り部をひろげていきたい」と話し、参加者から大きな拍手が送られました。

続いて「9条改憲で日本はどうか？」と題しての記念講演。講師の鹿又喜治さん（弁護士）に、9条改憲の意図するものは何か、9条に自衛隊が明記されることの意味、そしてそれをや



報告や講演から多くのことを学びあいました

めさせていくにはどうしたらいいのかなど、わかりやすく説明していただきました。参加者からは『平和を語るつどい』に参加して本当によかったです。原爆がどれだけ恐ろしいものか、はつきりわかりました。また、自衛隊員を他国の戦争に行かせてはなりません。私の子どもや孫たちのためにも、憲法9条は必ず守ってください』などの感想が寄せられました。

友の会社会保障部



今年の日本高齢者大会は9月25、26日に「みんなで築こう！憲法輝く原発ゼロの日本、長寿をともし喜びあえる社会」のスローガンのもと、郡山市で開催され、仙台南健康友の会から鈴木祐子さん(事務局次長)、久戸治美さん(西部Ⅱブロック長)が参加しました。お二人の感想をご紹介します。

原発廃炉のために声を上げ続けたい

鈴木 祐子



立命館大学国際平和ミュージアム名誉館長の安齋育郎さんが「原発事故から8年半！福島の実と原発ゼロへの道」をテーマに基調講演。「1972年初めて原発問題を取り上げたシンポジウムを学術会議として開催する際、基調講演をすることになった。その時に政府批判を行い、その後一貫して原発反対の運動を続け、東日本大震災の原発事故発生後は、福島の被災者の要望を受け、毎月調査を続けている」と安齋氏は話し、「事故炉の後始末に何年かかるのか、今現在どのような状態であるのかもわからない状態では福島の人は帰れない。なんの恩恵もたらさない放射性廃棄物の処理を私たちの子孫のために押しつけてはならない。そのためには原発問題や核兵器

禁止条約に真剣に取り組む人を国政に送らなければならぬ」と熱く訴えました。続いて3人の方が特別発言。その中の一人、原発事故当時高校2年生だった女性が原発事故にあり、家族バラバラの生活を強いられたこと、被災者であることを誰にも知られたいと思わなかったし、その事実から逃げたいと思つたことなど当時の心境を語

りました。でも現在は国や東電の対応に怒り、原発再稼働反対の運動を続けている。皆さんも一緒に頑張りましょうと訴えました。原発事故から8年半経っているのに、建屋の中には核燃料が残る恐れが帰れない…。国はこの現実をどのように捉えているのでしょうか？

政府は、被災者に寄り添うと言いつつ現実を目を背けて原発被災者の保障を打ち切り、原発再稼働を推し進めています。すべての原発の廃炉のため諦めることなく声をあげ続けていかなければと思いました。内容も充実していて学ぶことが多く、何より皆さんから元気をもらってききました。参加させていただきました。ありがとうございました。



参加者の熱気にあふれた会場

憲法25条が生かされる社会へ

久戸 治美



全体会で、中央実行委員会より、安倍政権が進める「全世代型社会保障」改革の中心である後期高齢者医療制度の窓口原則2割負担化やその他の社会保障改悪に反対し、9条改憲阻止、消費税増税中止、沖縄の新基地建設反対、市民と野党の共闘を發展させ安倍政権の退陣をめざす運動の一翼を担う高齢期運動の交流、決起の場として、訴えがありました。

00年かかるそうです。「事態を侮らず、過度に恐れず、理性的に向き合おう」と呼びかけ、核廃棄物という負の遺産を何世代も後の子孫に残さないよう私たちは考え行動しなければと話されました。

また、事故から8年半経った福島の現地を見て「原発ゼロの日本」実現の思いを共有し全国に発信する大会に、と発言がありました。

夜は70周年を迎えた松川事件のお話しを聞き、翌26日は「生保、国保めぐる情勢と憲法25条を活かすたかいかい」という分科会に参加しました。憲法25条は活かされず、2012年の「社会保障制度改革推進法」により社会保障の基本が自己責任と法律に書き込まれました。この法律を契機に負担増と給付削減に加速がつき、私たちの払う保険料は上がっていき、いざ制度を利用しようとする条件が厳しくハードルが高くなって利用しづらいものになっていくという事です。私たちもすっかりと世の中の動きを見つめ声をあげていかなければと感じました。

記念講演は安齋育郎氏。事故当時から福島を訪ね調査測定支援のボランティアを続け今も毎月福島を訪ねて相談に乗っていることや、原発の中にはデブリという溶けて流れ落ちた核燃料が大量にたまっており、現状もよくわからず取出し作業の先も見えないとの話をされました。セシウム137の放射能が10分の1に減るのに1

皆さんのご協力で参加させていただき、ありがとうございました。

班から、ブロックから

学習と交流に 終始なごやかな時間 名取ブロック



終始なごやかな雰囲気

10月7日、名取ブロック交流会・医療懇談会が増田西老人憩いの家で開催され、17名が参加しました。

第一部の交流会では、熊谷郁夫会長の挨拶と年間活動報告を行いました。

第二部は、長町病院の佐藤行夫先生が「こうして予防、生活習慣病」というテーマで話してくださいました。参加されたみなさんはうなずきながら聴いており、講演のあとは「サプリメントは効果があるか」「お酒の適量とはどのぐらいなの」などたくさん

の質問が出され、一つ一ついいねいに答えてくださいました。お茶とがんづきを食べながら、終始なごやかな時間を過ごすことができました。

名取ブロック・笹森波

童心に帰って なごやかに

若林お食事交流会

10月28日に「若林老人憩いの家」で「お食事交流会」を開催しました。

台風や集中豪雨が続きましたが、当日はカラッと秋晴れの良い天候。仲間同士で誘いあって、元気に23名が参加し、4カ月ぶりの再会を楽しみました。まず渡辺建寿さんのアコーディオンに合わせ



笑顔に包まれたお食事交流会

せて、「湯の町エレジー」や「人生の並木町」など、昔の懐かしい歌をみんなで大きな声で歌った後に食事。「みんなで食べるとおいしいね！」との声や「こんなに全部食べきれないので」とお弁当をお持ち帰りする人もいました。昼食時に突如、前日再選を果たした福島一恵県議員がお礼の挨拶に立ちひとり拍手で歓迎、その後一人自己紹介がありました。

食後は、渡辺さん講師で歌に合わせたの脳トレ。「お隣の肩にポンと手を触れたり、両手を合わせた」そのしぐさがまさに童心に帰った雰囲気でも和やか。89歳、90歳、92歳と年齢を感じさせない元気な姿も。最近妻を亡くして参加した人からは「この場に参加して元気をもらった」「励まされた」との感想もよせられました。

12月は望年会の予定です。

若林ブロック・平間止

「ごはんがおいしいですか?」「からだに不調は?」と呼びかける『青空健康相談会10月17日』ポスターをもって、会場のみやぎ生協太子堂店へ一週間前に貼り出し。相談会当日はポイントがたくさんつく日。店舗から貸りた机といすを並べ、旗を立てて始まります。相談者は記録をシートに書いて、保健部メンバーに手伝ってもらい、血圧や握力など測ると看護師さんとの面談が始まります。「握力の弱い人はそうでない人に比べると、認知症発症のリスクが2倍以上高まる



幅広い質問と 会話が飛び交う 郡山ブロック



相談者は途切れることはありません

のよ」などの話も。「明日もやってみますか? 今日ちよつと時間が無いもんだから」「息子が血圧高く、以前倒れたんです」など幅広く会話が飛び交います。じっくりと相談される方もいて20人の相談会でした。

郡山ブロック・中田寿人

ボールで楽しく 身体を動かす

復興住宅健康カフェ

毎月第一土曜日の復興住宅での健康カフェ。11月は第二住宅で開催しました。体操の最後に大きな風船を使ってバレーボール。歓声が続き、「楽しく運動できました」と好評でした。



風船でのバレーボールでは歓声が

地域交流サロン・サークル活動 掲 示 板



◎ 地域公開講座

月 日	テーマ	お話しされる方
11月28日(木)	お米の美味しい炊き方	岩井 一剛さん(米工房いわい 代表取締役)
12月19日(木)	物忘れ予防の秘訣	桂嶋 勇孝さん(友の会保健部)
2020年		
1月23日(木)	確定申告で悩まないために	山脇 武治さん (仙台生活と健康を守る会協議会会長)
時間: 14:00~15:30 会場: よしの亭 ※事前にお申し込みください。		

◎ お茶っこ会

毎週火曜日 10:00~12:00
(奇数月の第二火曜はお休み)
よしの亭にて



次回のレクレーション企画は、12月10日、紙芝居です。どなたでも参加できます。

◎ こどもふらっと塾(無料塾)

学校の宿題などを持ち寄り、みんなで楽しく勉強します。小学生・中学生が対象です。学生ボランティアが参加します。

毎月第3土曜日 10:00~12:00
よしの亭にて ※事前にご連絡ください
12月は21日、2020年1月は18日

うたごえ喫茶 11月以降の予定

11月26日(火)	
12月25日(水)	
2020年	
1月13日(月・祝)	
2月25日(火)	
3月30日(月)	



時間: 14:00~16:00
会場: たいはっくる展示ホール(地下1階)
参加費: 友の会員500円、一般800円

映画サークル、これからの予定 (会場はよしの亭で午後1時半~、参加は無料)

月 日	題 名	上映年・国	出 演
12月16日(月)	男はつらいよ 噂の寅次郎	1978年・日	渥美清、大原麗子 他
2020年			
1月20日(月)	アンコール	2012年・英	テレンス・スタンプ 他
2月17日(月)	椿 三十郎	1962年・日	三船敏郎、加山雄三、仲代達矢 他
3月16日(月)	めぐり逢い	1989年・米	ケーリー・グラント、デボラ・カー 他
4月20日(月)	銀座の恋の物語	1962年・日	石原裕次郎、浅丘ルリ子 他
5月18日(月)	私の頭の中の消しゴム	2004年・韓	ソン・イェジン、チョン・ウソン 他
6月15日(月)	幸福の黄色いハンカチ	1977年・日	高倉健、倍賞千恵子 他
7月27日(月)	ガス燈	1944年・米	シャルル・ボワイエ、イングリッド・バーグマン 他
8月17日(月)	この世界の片隅に	2016年・日	アニメーション
9月28日(月)	マンマ・ミーア	2008年・米	メリル・ストリープ、ピアース・ブロスナン 他
10月19日(月)	あなたへ	2012年・日	高倉健、田中裕子、佐藤浩市 他
11月16日(月)	男と女	1966年・仏	ジャン＝ルイ・トランティニャン 他
12月21日(月)	男はつらいよ・柴又慕情	1972年・日	渥美清、吉永小百合 他

第2回友の会写真コンクール 審査結果!

仙台南健康友の会写真コンクールには、11名の方から19作品のご応募をいただきました。どうもありがとうございます。審査結果をお知らせいたします。なお、特賞(1作品)には図書カード5000円、金賞(2作品)には図書カード3000円、銀賞(3作品)には図書カード2000円、佳作には図書カード500円を進呈いたします。



★特賞 「セミの羽化」

遠藤 恵子さん (気仙沼市)、

撮影者コメント…夏の暑い夜、庭の百合の花にセミの幼虫がぶら下がっているのを見つけ、近所の親子といっしょに羽化の様子を観察しました。神秘的な動き、白く透き通る羽の美しさ。羽化を初めて見た子どもときの感動がよみがえり、幸せな気持ちになりました。



金賞 「親子?」

笠原 等さん (太白区泉崎)

撮影者コメント…今年は暑かったせいか、蝶がいっぱい来た。卵を庭の野菜に産みつけ、ご覧の通り幼虫が。でも、黄揚羽の幼虫かもしれない。



銀賞 「GO GO!!」

藤澤 律子さん (太白区長町)



銀賞 「紅梅となごり雪」

大久 長範さん (太白区人來田)



銀賞 「夏の終わりの夕方の雲」

千葉 明日香さん (太白区長町)



金賞 「ここじゃなきゃイヤ~!!」

山崎 幸子さん (太白区山田本町)

撮影者コメント: お姉ちゃんの椅子に自分も座りたかったようで、無理やり入り込んでいました。

写真コンクール



佳作「見て、トンボだよ！」
鈴木 あきさん (太白区長町)



佳作「ほとバスから見た東京タワー」
中田 純人さん (太白区郡山)



佳作「我が家のペット」
菅原 直子さん (青葉区木町通)



佳作「尾瀬にて」
鈴木 麦穂さん (太白区長町)



佳作「ママ楽しい！」
阿部 周子さん (太白区柳生)

シリーズ その④ 石川 智子さん (若林区石名坂)



いつも笑顔をやさしい石川さん

「素敵に長生き班」で月2回班会を主宰している石川智子さんです。

若林区の「素敵に長生き班」で憲法カフェと笑いヨガを毎月開催している石川智子さんをご紹介します。出身は川崎市。20代で宮城に移住し40年を超えました。みやぎ生協の委員会活動も経験。その活動を通じて知り合いとなった方から紹介を受け、1995年から長町病院の売店で働くこととなりました。以降15年間(うち1年は泉病院)売店で働き、友の会健康まつりな

どのイベントにも協力。いま友の会室で販売しているパンは、売店のときのつながりで石川さんが業者を紹介してくれたものです。退職後、地域の新日本婦人の会のメンバーを中心にした「素敵に長生き班」に参加。当初は不定期の開催でしたが、4年前から憲法カフェを、2年前から笑いヨガを毎月継続しています。

「メンバーの要望にこたえてこれからも楽しく集まりたいですね。今後は健康に関するテーマも年に2回ぐらいは織り交ぜながら、班の名前どおり素敵に長生きしたいです」と話す石川さんです。

健康チャレンジお申し込みの方へ

保健部の健康チャレンジに申し込まれた皆様、どうもありがとうございます。チャレンジの期間は11月末までです。

達成した方には記念品を進呈いたします。記録用紙を12月14日までに友の会にお届けください。





わたしのひとこと

◆これからが心配

小森 悦子(青葉区米ヶ袋)

今日はハガキを62円で出せる最後の日です。食べ物8パーセントだけど外食は10%、ビールはノンアルコールだったら8%だって・・・などと言っているうちに、電車やバス、光熱費などのこと忘れてました!!ホントにホントにどうなるんでしょう。

◆手指のリハビリのために

佐藤 のり子(太白区羽黒台)

現役で仕事をしているときから、鶴折りを10年ほどさせてもらってあります。いまは手先のリハビリのためと思いい、遊びながら毎年8月に間に合うように千羽鶴を折っています。元気でいられるうちは折り続けたいと思います。

◆私のポケ防止法

渡邊 兼光(太白区ひより台)

このごろはほとんど字を書きません。スマホもGoogle使えば文字変換。このハガキで1回100字はいけます。友の会だよりを丹念に読めば、1日1000字は固い。私なりのポケ防止になります。一、十、百、千、万の健康法。

◆「いいいちゃん」に喜び

佐々木 勝名(取市植松)

パズル当選の図書カード、孫(小1・小4)に贈呈しています。「いいいちゃん」と言われ、うれしいですよ。

◆知り合いを見つけてうれしく

伊藤 友子(青葉区東勝山)

◆元気で過ごすごしを

佐藤 勝子(太白区秋保町)

前号の桂嶋さんの寄稿(原水爆禁止世界大会報告)を読みました。幼くして被爆された三田村静子さん、田中重光さん、どうぞお元気で過ごしてくださいね。友の会だよりはカラー写真も多く、さらに見出しの文字色もとてもよく、毎回楽しみにしています。

◆増税にショック

安井 京子(太白区柳生)

10月からの増税にショック!前から知っていても、いざ増税になると家計に響いてがっかりです。年金を支えてもらっている人たちも皆同じですよ。考えさせられます。これからの生活を節約して、健康に気をつけて過ごしましょう。

◆うたごえ喫茶が楽しく

辻田 弘子(太白区若葉町)

いろいろと楽しいことがたくさんありますね。うたごえ喫茶に2、3回参加しましたが、とても楽しい思いをしました。機会を見てこれからも参加したいと思います。

◆亡くなった夫に感謝

庄子 淳子(太白区緑ヶ丘)

暑かった夏の日射が、台風一過で急に秋風のそよぐ日々となりました。庭のコスモもいるどりよく風に揺らいているのを眺めて、昨秋亡くなった夫が残してくれたのだと感謝の日々です。

◆今年もあと三分の一

菅原 康介(青葉区旭ヶ丘)

「暑い暑い」とつい昨日まで言っていた気がしますが、今日スキー場から今シーズンの早割チケット販売開始のメールが届きました。思えば今年もあと3分の1を切りましたね。そりや、あつという間に歳とるわけだ:

◆字が大きくて助かります

千葉 昭子(太白区羽黒台)

夜寝るときは活字を読まないと眠りに入れませんでしたが、このごろ活字が見えづらくなり困っていました。友の会だよりは字が大きくて助かります。

◆運動でリフレッシュ

白石 啓子(太白区長町南)

今年の夏の暑さは格別でした。8月に誕生日を迎える私も68歳になってしまい、少々夏バテ気味。朝夕2回のお散歩とカーブスという運動施設に通うのが日課で、それでリフレッシュしています。毎日汗をかき6月につくった梅サワー(酢・氷砂糖・梅)3ピンをもう全部飲みきってしまいました。元気だけが取り柄です。

◆扇風機買いました

熊谷 みよ子(太白区山田甲申丘)

今年の夏も暑かったですね。我が家に1台しかない扇風機が動かなくなりました。修理しようと家電店に行く

◆戦争は庶民を犠牲に

庄司 一郎(太白区西中田)

先日、ある団体の旅行でハバロフスクに行きました。土色に濁った大河・アムール川を見て草生した日本人墓地の前で「うさぎ追いし:故郷の歌を」心を込めて歌い、感慨ひ

◆検診結果に「大変!」

遠藤 恵子(気仙沼市)

住民検診で血圧と血糖を示す数値がひっかかり、「これは大変!!ウォーキングをするぞ」と決意しました。でも暑くてめげて、雨の日は中止してち



相原 綾子(太白区鹿野本町) ちぎり絵



塚本 令子(太白区四郎丸落合) 絵手紙



山田 英子(太白区长町) 絵手紙

菊地 力治(太白区长町) 色紙絵



藤田 洋子(太白区鹿野本町) ちぎり絵



「わたしのひとこと続き」

◆ものすごく怒ってます

堤 智子(太白区八木山香澄町)

ものすごく怒っています。台風15号による停電で、とうとう亡くなる方もいました。そんな折、内閣改造にうつつを抜かず安倍政権。東電も「予想を超える強い台風被害だった」と。NHKニュースは内閣人事をトップに報道。なんとこの国でしょう。一方、藪田さんの『聴診器』の内容に感動しました。『友の会だより』を安倍首相に読ませたい。

◆視覚障害者が住みよい街に

坂部 宏子(太白区太子堂)

「聴診器」の「視覚障害者が住みやすい街は健常者にとっても住みやすい街である」が実現してほしいものです。

◆健康まつり楽しみに

熊川 京子(青葉区中央)

久しぶりにペンをとりました。今年の夏は本当に暑い日が続きましたが、やっと秋の気配が感じられるようになってきましたね。健康まつり楽しみにしております。

◆とても読みやすいです

佐々木 政子(太白区西中田)

友の会だよりは写真が豊富で、生き生きとした活動の様子が伝わってきます。とても読みやすいですね。

◆長町病院に感謝

今野 邦夫(太白区郡山)

早いもので今年もあと残り僅かとなりました。長町病院で健康管理をして頂いているお陰で大病もせず日々過ごせております。ありがとうございます。

◆パズルに初挑戦

櫻井 千世子(名取市愛島)

友の会だよりを頂戴しました。一人では参加できずにおりましたが、今回パズルの応募に初挑戦。そして健康まつりに参加し、その折に会費も納入しようと思います。



友の会パズル

A~Fまでの文字を並べてできる言葉は

「ヨコのカギ」

- ① 東南アジア南部に位置する共和制国家。首都はジャカルタ。
- ② 今日の日。
- ③ ○○あれば苦あり。
- ④ 人気アニメ「名探偵○○○」
- ⑤ 新聞社で取材にあたる人。
- ⑥ ある目的のために仲間や一味などを組むこと。「○○○を組む」
- ⑦ 虫歯予防のためにも欠かせません。

① この県の県庁所在地は水戸市。

「タテのカギ」

- ② 戸・扉のこと。
- ③ イギリス最大の淡水湖。昔ネツシーがいると話題になりました。
- ④ フランスの映画俳優○○○ドロン。「太陽がいっぱい」が有名。
- ⑤ 花粉症ではこれがつらいですね。
- ⑥ 「夜」を英語で。
- ⑦ ことをわざ「○○は金なり」
- ⑧ 人をだますために言う、事実とは違う言葉。

①		②	③	B	④
F		⑤			
⑥	⑦		⑧ C	⑨	
⑩	D				
			⑪ A		⑫
⑬					E

解答欄

A	B	C	D	E	F
---	---	---	---	---	---

▼前回の答え

「ウンドウカイ(運動会)」

①	ケ	ン	ダ	マ		④	ハ
F			⑤	イ	シ	ヨ	ク
⑥	イ			⑧	シ		シ
⑦	ロ	ン	ド	ン			
D				⑨	ウ	イ	ヨ
⑩	ウ				⑪	E	ン
⑫	ノ	シ					⑬
⑭	ヒ	ガ	ン	バ	ナ		

応募のしかた

☆ハガキに、答え、氏名、住所、よろしければひとことお書き添えいただき、表記友の会まで。
 メール・ファックスでも受け付けます。ホームページ上からも応募できます。通信は紙面に掲載させていただくこともあります。正解者の中から**10名様**に図書カード進呈。
 〆切は**12月20日**(当日消印有効)

当選者はホームページ上では非公開にしています。

◎9月号のパズルは52名の方からご応募いただきました。抽選により左記の方々に図書カードを進呈いたします。(敬称略)

聴診器

ついに出会えた。遡上してきたサケを目の前の足元で見ている。散歩を日課にする。決めてからこの日を待ち望んでいた。昨年宮沢橋の下でばちゃばちゃと水しぶきが上がっていたが、サケの形としてはとらえられなかった。今年は元気に遡上し産卵している場面を見ることを、秋の散歩の目的にした▼大荒れ続きの天候で川が濁り半分あきらめていたが、『秋を楽しむ』を目的に散歩を続けてきた褒美をもらった。散歩が長続きしない私にとって、広瀬川周辺をうろうろしている川と散歩の目的はいくつでも生まれてくる。留鳥になってしまった白鳥も見かける。だが、水面にしっかりと目を凝らして微動だにしない鷺(サギ)や水に潜った鵜(ウ)がどこから顔を出すのか、目を凝らしているのも楽しい▼清流であるからこそ見られる生物の営み、大切な自然。辺野古のサンゴの海を埋め立てようとする政権など、早く退場させたい。



(中田)

あなたと民間連をつなぐ月刊誌

いつでも元気

MIN-HREN

2019 12月号 380円 **好評発売中**

ほんご教室 冬場の下痢
被災地はいま 台風19号
ロイは東京をめざす 中村梧郎
「全世代型社会保障」そのココロは?
まちのチカラ 北海道白老町
食と健康 子どもと作るクリスマススイーツ

発行・発行人 民間連研究社 〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 平和と発展センター9階 電話 03(5842)5656(代表) FAX 03(5842)5657

